

# 京丹後市国民健康保険 第3期データヘルス計画及び 第4期特定健康診査等実施計画

## 概要

令和6年2月  
京丹後市

# 計画の策定について

## 計画の趣旨

★データヘルス計画とは、保険者が持つ健康・医療情報を分析し、被保険者にとって効果的・効率的な保健事業を実施するための計画です。幅広い年代の被保険者の身体的な状況に応じた健康課題を捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質(QOL)の維持及び向上を図り、医療費の適正化に資することを目指します。

なお、データヘルス計画には高齢者の医療の確保に関する法律第19条に基づき市町村が策定する特定健康診査等の実施に関する計画を組み込んでいます。

## 計画の期間

★令和6年度から令和11年度までの6年間

## 地域の概況

### 人口構成概要

★高齢化率(65歳以上)は**38.2%**であり、府との比較で**8.8**ポイント**高い**

★人口に占める国民健康保険加入率は**23.8%**

人口構成概要(令和4年度)

区分	人口総数(人)	高齢化率(65歳以上)	国保被保険者数(人)	国保加入率	国保被保険者平均年齢(歳)	出生率	死亡率
京丹後市	50,547	38.2%	12,039	23.8%	55.9	5.8	15.0
府	2,495,174	29.4%	561,772	22.5%	51.1	6.6	10.8
国	123,214,261	28.7%	27,488,882	22.3%	51.9	6.8	11.1

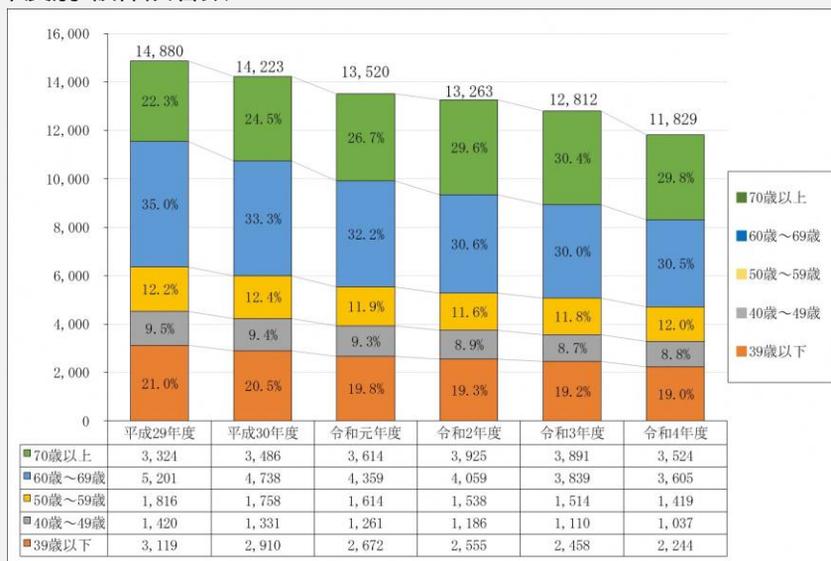
出典:国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## 被保険者数

★令和4年度の国民健康保険被保険者数は平成29年度より

**3,051人減少**

### 年度別 被保険者数



出典:保険者総合行政基幹システム(国保資格管理システム)より抽出

## 医療費の状況

★ 医療費は、平成30年度より  
**2億4,816万円減少**

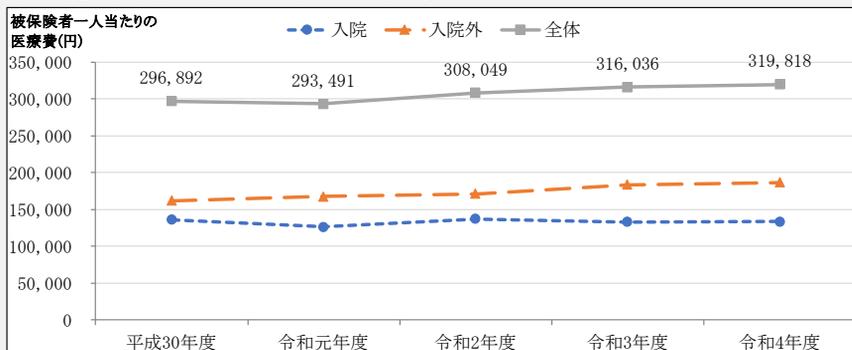
年度別 医療費及び有病率



出典:レセプトデータ

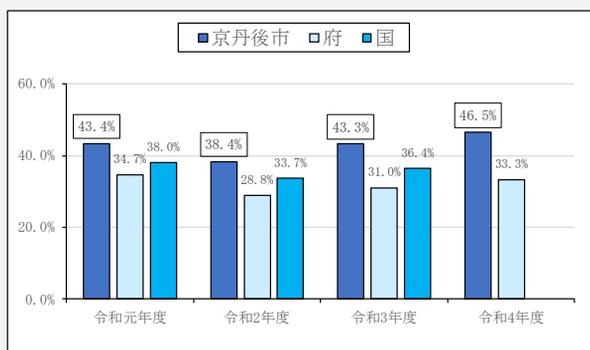
★ 一人当たりの医療費は、  
平成30年度より  
**22,926円増加**

年度別 被保険者一人当たりの医療費



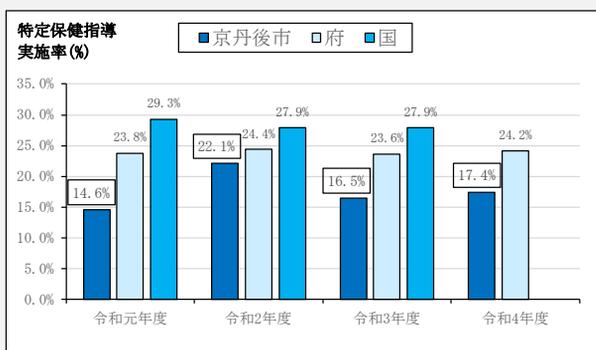
出典:レセプトデータ

## 特定健康診査の受診率



- ★ 特定健康診査受診率はいずれの年度も国・府よりも高い
- ★ 受診勧奨通知実施の令和3年度以降受診率は上昇

## 特定保健指導の実施率



- ★ 特定保健指導実施率はいずれの年度も国・府よりも低い
- ★ 令和元年度との比較では、令和3年度、令和4年度実施率は上昇

生活習慣病の予防や早期発見・早期治療による重症化予防

★ 医療費・患者数上位において、高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣に関する疾患が多くを占めている

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に対して占める割合)
令和4年度	1	0901 高血圧性疾患	148,263,729	4,346	38.6%
	2	0402 糖尿病	241,764,078	4,270	37.9%
	3	1113 その他の消化器系の疾患	170,518,552	4,051	35.9%
	4	0403 脂質異常症	107,348,251	3,653	32.4%
	5	2220 その他の特殊目的用コード	102,367,839	3,461	30.7%
	6	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	63,494,239	3,441	30.5%
	7	0703 屈折及び調節の障害	13,421,075	3,010	26.7%
	8	0704 その他の眼及び付属器の疾患	104,657,110	2,901	25.7%
	9	0606 その他の神経系の疾患	166,549,700	2,678	23.8%
	10	0903 その他の心疾患	158,403,711	2,577	22.9%

★中分類による疾病別統計によると「高血圧性疾患」「糖尿病」「脂質異常症」が患者数の上位にある。

出典:レセプトデータ

検査項目別有所見者の状況(令和4年度)

区分			収縮期血圧	HbA1c	LDL
			130以上	5.6以上	120以上
京丹後市	40歳~64歳	人数(人)	566	533	780
		割合(%)	35.8%	33.8%	49.4%
	65歳~74歳	人数(人)	1,450	1,419	1,140
		割合(%)	56.7%	55.5%	44.6%
	全体 (40歳~74歳)	人数(人)	2,016	1,952	1,920
		割合(%)	48.8%	47.2%	46.4%
府	割合(%)	46.6%	56.3%	47.4%	
国	割合(%)	47.5%	57.1%	50.3%	

★健康診査データより、生活習慣病に関連する検査項目「収縮期血圧」「HbA1c」「LDLコレステロール」の有所見者 割合は、45%を超えている。

出典:国保データベース(KDB)システム「健診有所見者状況(男女別・年代別)」

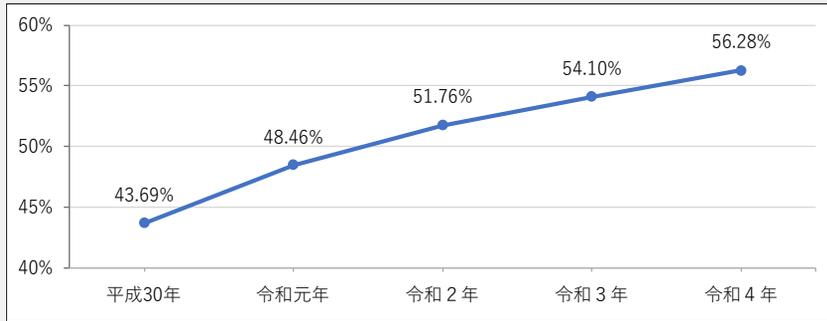
取組	① 特定健康診査	40歳から74歳までの人を対象とし特定健康診査を実施する。
	② 特定保健指導	特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、健康状態(メタボ)の改善を目指す。 未利用者への勧奨により利用の動機付けを図る。
	③高血圧・糖尿病の重症化予防事業	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、早期受診、治療を促す。
	④ がん検診	がんの早期発見、早期治療のため、各種がん検診(胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん)を実施する。

令和11年度までに ※一部抜粋※

目標	① 特定健康診査	特定健康診査受診率 50%
	② 特定保健指導	特定保健指導終了者の割合 45%
	③高血圧・糖尿病の重症化予防事業	血圧該当者の医療受診率 50% 血糖該当者の医療受診率 65% 血圧保健指導率 80% 血糖保健指導率 80%
	④ がん検診	検診受診率 胃 60% 大腸 60% 肺 60% 子宮頸 60% 乳 60% 精密検査受診率 胃 90% 大腸 72% 肺 93% 子宮頸 100% 乳 100%

# 医療費適正化

## 年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



★ ジェネリック医薬品の使用割合(数量ベース)は、**56.28%**である。

出典:レセプトデータ

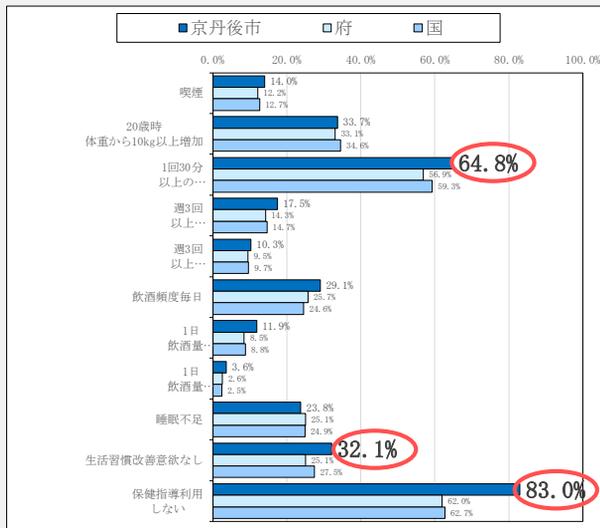
<b>取組</b>	ジェネリック医薬品の推進	ジェネリック医薬品の普及啓発やお薬手帳の利用促進により、医療費の適正化を図る。
-----------	--------------	---

令和11年度までに

<b>目標</b>	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)	60%
-----------	---------------------	-----

## 保健事業を通じた健康づくり

### 質問表の状況(令和4年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

★ **全市的な健康づくり運動**  
(歩いて進める健康づくり事業)

★ 運動習慣がないと回答した割合は64.8%、生活習慣の改善意欲がないと回答した割合は32.1%で国、府よりも高い。

★ 健康診査の質問票より、保健指導を利用しないと回答した割合は83.0%で、国、府よりも高い。

<b>取組</b>	歩いて進める健康づくり事業	運動習慣の定着が進んでおらず1日の平均歩数も国や府に比べて低い現状がある。ウォーキングを市民に普及・啓発し、運動習慣を身に付けてもらうきっかけづくりを目的として実施する。
-----------	---------------	---

令和11年度までに ※一部抜粋※

<b>目標</b>	特定健診における30分以上の運動習慣者の割合	50%
-----------	------------------------	-----